

Tencent (700 HK)

中国/ インターネット&ソフトウェア/ 決算レポート

2016年3月18日

発表された純利益は市場予想を下回ったが、コア事業の成長は好調だった

- 4Q15 年度第 4 四半期にコアの純利益の伸び率は 25%に加速した
- 15 年度第 4 四半期に三大部門全てで伸びが加速した
- 収益性は安定傾向



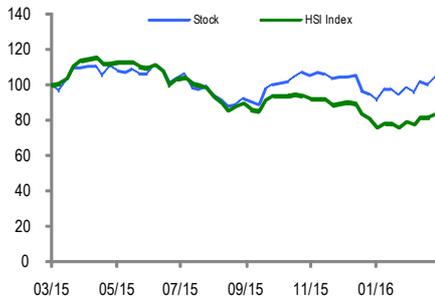
予想の修正 (%)

12月31日決算	16年度予想	17年度予想
売上高の変更	N.A.	N.A.
純利益の変更	N.A.	N.A.
EPSの変更	N.A.	N.A.

主な銘柄データ

52 週間の高値/安値	171 / 124 香港ドル
30日間の平均出来高	17.07 百万
発行済み株式数	9,404.19 百万
時価総額	1,475,518 百万
主要株主	MIH (33.51%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

12月31日決算	2014年度	2015年度	2016年度 予想	2017年度 予想
売上高(100 万人民元)	78,932	102,863	119,298	144,206
伸び率 (%)	31	30	16	21
純利益(100 万人民元)	23,810	28,806	36,628	44,578
伸び率 (%)	54	21	27	22
EPS (人民元)	2.579	3.097	3.897	4.742
伸び率 (%)	52	20	26	22
PER (倍)	46.9	40.3	32.5	26.7
PBR (倍)	13.9	10.6	8.3	6.5
DPS (香港ドル)	0.360	0.470	0.515	0.627
イールド (%)	0.2	0.3	0.3	0.4

出典: 京華山一 予想

最新情報

Tencent の 15 年度第 4 四半期の決算は、売上高が 45%増の 304 億 4,100 万人民元、純利益が 22%増の 71 億 6,400 万人民元になった。売却関連益を除いた 15 年度第 4 四半期のコアの純利益は 25%増の 69 億 1,500 万人民元だった。15 年度の純利益は 21%増の 288 億 600 万人民元、コアの純利益は 28%増の 269 億 2,000 万人民元だった。

当社の見方

15 年度第 4 四半期にコアの純利益の伸び率は 25%に加速した。発表された純利益は市場予想を下回ったものの、15 年度第 4 四半期のコアの EBIT/ 税引前利益/純利益(売却益を除く)が 51%増/38%増/25%増となり、15 年度第 3 四半期の 32%増/23%増/23%増を上回ったことから、当社はコア事業の成長は極めて好調だったと考えている。当社は、非コア項目、すなわち (i) 15 年度第 4 四半期の実効税率が 21.7%の高水準に留まり、15 年度では 19.6%になったこと、(ii) JD.com の赤字が原因で、15 年度第 4 四半期の関連会社損失が更に増えて 13 億 2,900 万人民元になったことが、今回発表された予想を下回る純利益の原因だったと考えている。

15 年度第 4 四半期に三大部門全てで伸びが加速した。15 年度第 4 四半期にオンラインゲーム/ ソーシャルネットワーク/ オンライン広告の売上高は前年比で 33%増/37%増/118%増となり、15 年度第 3 四半期の 27%増/32%増/102%増を上回る伸びを記録した。モバイルゲーム、成果報酬型モバイル広告、ビデオ広告ならびにバーチャルアイテム販売が成長牽引役だった。

収益性は安定傾向。粗利益率が 1.4 ポイント低下したのは、オンライン広告の寄与が高まったことが原因だった。部門別では、オンライン広告の粗利益率が 4.9 ポイント上昇したが、オンラインゲームの粗利益率は計上方法の変更ならびにライセンスを受けたモバイルゲームの寄与が高まったことが原因で 2.7 ポイント低下した。その一方で、営業経費率は引き続き上昇のピークアウト傾向がみられた。

今回の決算が評価引き上げのきっかけになる可能性が高い。15 年度第 4 四半期/15 年度決算におけるコア事業の好調な伸びは、WeChat ベースのモバイル戦略が引き続き Tencent に好結果をもたらしていることを示している。オンライン広告に関するデータマイニングならびに類似ユーザーターゲティング、デジタルコンテンツ開発の強化、それに急成長し始めた決済サービスならびに金融商品が、今後の成長牽引役になるだろう。

免責事項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィックグループの企業、同グループに関係する個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。
<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。